

作成日：2001年09月17日

改訂日：2023年04月01日

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド AW モルタル  
会社名: ショーボンドマテリアル株式会社  
住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10  
担当部門: 品質保証課  
電話番号: 049-225-5611 F A X: 049-225-5616  
緊急連絡先: 品質保証課 電話番号: 049-225-5611  
整理番号: AW モルタル-09

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性:	可燃性固体	分類できない
健康に対する有害性:	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)

※記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

## GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
H318 重篤な眼の損傷  
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い  
H350 発がんのおそれ  
H335 呼吸器への刺激のおそれ  
H372 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害(呼吸器、免疫系、腎臓)

## 注意書き

予防策: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後、手や顔をよく洗うこと。  
使用前に取扱説明書を手入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

対応: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。  
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
眼に入った場合: 水で15~20分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察を受けること。  
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。  
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。  
 保管 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。  
 廃棄 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名 (成分)	官報公示整理番号 化審法	CASNo.	濃度又は 濃度範囲(含有量%)
ケイ酸カルシウム	1-194	12168-85-3	30～40
アルミン酸カルシウム	9-2408	12042-78-3	3～10
硫酸カルシウム	1-193	7778-18-9	0～5
珪砂	1-548	7631-86-9	45～55
その他の含有成分	非公開	非公開	2～6

※珪砂を含むため、結晶質シリカ(CAS 番号: 140808-60-7)を最大で 52%含む可能性がある。

※ポルトランドセメント(アスベストを含まず、結晶質シリカ<1%、CAS 番号: 65997-15-1)を 40～50%含む。ポルトランドセメント中のクリンカーに酸化マンガン(CAS: 1344-43-0)が 1%未満、クロム化合物が微量(0.1%未満)含有している。

4. 応急処置

目に入った場合： 速やかに清浄な水で 15～20 分間注意深く洗うこと。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
 速やかに多量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。  
 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 症状が続く場合には、医師に連絡すること。  
 飲み込んだ場合： 無理に吐かせないで、水でよく口の中を洗浄したのち、直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤： 本製品は不燃物質である。  
 周辺の火災時は全ての消火薬剤の使用が可能である。  
 使ってはならない消火剤： 製品に直接水を使用すると安定固化することに留意する。  
 特有の消火方法： 消火活動は原則、風上から行う。  
 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。  
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
 消火を行うものの保護： 消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
 関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、  
 眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
 環境に対する注意事項： 製品の環境中への流出を避ける。  
 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策を  
 とる。粉じんが飛散しないようにする。  
 回収・中和、封じ込み及び 掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で  
 浄化の方法・機材： 保管する。やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、

中和処理等により適切に処理する。  
 回収物や回収した洗浄水は、「13 廃棄上の注意」に従い、廃棄又は排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
- 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取り扱い注意事項： 周辺で火気の使用、発生のないこと。  
 使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。  
 ホームページアドレス：<https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
 屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。  
 取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。

保管：

- 技術的対策： 保管場所には、危険・有害物を貯蔵・取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
- 保管条件： 酸性の製品、水と接触の恐れがない場所に貯蔵する。  
 部外者が触れない措置を講ずる。乾燥した場所に保管する。
- 混色禁止物質： 酸性の製品、水（水との接触で、強アルカリ性（pH：12～13）を呈するため）
- 容器包装材料： 防湿性の容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 室内で取り扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。多量に取り扱う場合は、集塵装置を設置する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具： 防塵マスク
- 手の保護具： 保護手袋
- 目の保護具： 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 保護衣

[管理濃度]

(労働安全衛生法・作業環境評価基準)

$$E = 3.0 / (1.19Q + 1) \quad E = \text{管理濃度 (mg/m}^3\text{)} \quad Q : \text{遊離けい酸 (結晶質シリカ) 含有率 (\%)} \\
 Q = 52\% \text{ のとき、} E = 0.048 \text{ mg/m}^3$$

0.05 mg/m<sup>3</sup> (マンガン及びその化合物、マンガンとして)

[許容濃度]

ACGIH TLV-TWA (2021)	10mg/m <sup>3</sup> (インハラブル粒子)(硫酸カルシウム) 0.025mg/m <sup>3</sup> (結晶質シリカ)
ACGIH TLV-STEL (2021)	設定されていない
日本産業衛生学会 (2021)	1 mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉塵)、4 mg/m <sup>3</sup> (総粉塵)(第2種粉塵(ポルトランドセメント)) 0.03 mg/m <sup>3</sup> (吸入性結晶質シリカ) 0.02 mg/m <sup>3</sup> (吸入性粉塵)、0.1 mg/m <sup>3</sup> (総粉塵)(マンガンおよびマンガン化合物(Mn として、有機マンガン化合物を除く))

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状等： 固体(粉末)

色:	灰白色
臭い:	無臭
融点/凝固点:	1000℃以上
沸点,初留点及び沸騰範囲:	不燃性
可燃性:	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	爆発性無し
引火点:	不燃性
自然発火温度:	不燃性
分解温度:	データなし
pH:	水と接触すると12~13
動粘性率:	該当しない
溶解度:	水と反応
n-オクタノール/水分配係数(log値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	約2.72~2.82g/cm <sup>3</sup> (20℃)
相対ガス密度:	該当しない
粒子特性:	データなし
その他情報:	データなし

10. 安定性および反応性

安定性:	通常の条件では反応しない。
反応性:	水と反応して安定固化する。
避けるべき条件:	保管時: 水、湿気、酸 使用時: 酸
混触危険物質:	酸性の製品、水(水との接触で、強アルカリ性(pH: 12~13)を呈するため)
危険有害な分解生成物:	該当なし

11. 有害性情報

急性毒性	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/皮膚刺激性	水と接すると強アルカリ(pH=12~13)となる。また本製品の粉じんは体内の水分と結合して、皮膚と眼に軽度~重度の腐食性火傷を形成することがある。これより区分1とした。
目に対する重篤な損傷性/眼刺激性	水と接すると強アルカリ(pH=12~13)となる。また本製品の粉じんは体内の水分と結合して、皮膚と眼に軽度~重度の腐食性火傷を生じることがある。また、本製品が眼に滞留した場合、洗い流さないとアルカリ火傷を生じるおそれがある。これらより区分1とした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	区分2 成分情報: 結晶質シリカ [区分2] ポルトランドセメント [分類できない] 硫酸カルシウム [分類できない]
発がん性	区分1A 成分情報: 結晶質シリカ [区分1A] ポルトランドセメント [分類できない] 硫酸カルシウム [分類できない]
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	区分3(気道刺激性) 成分情報: 結晶質シリカ [分類できない] ポルトランドセメント [区分3] 硫酸カルシウム [分類できない]
特定標的臓器毒性、反復ばく露	区分1(呼吸器、免疫系、腎臓) 成分情報: 結晶質シリカ [区分1] ポルトランドセメント [区分1] 硫酸カルシウム [分類できない]
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性):	短期	分類できない
水生環境有害性 (慢性):	長期	分類できない
生態毒性:		情報なし
残留性・分解性:		情報なし
生体蓄積性:		情報なし
土壌中の移動性:		情報なし
オゾン層への有害性:		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
環境基準:		土と混合した改良土からは、土壌環境基準を超える六価クロムが溶出する場合があるので、事前に試験を行い、溶出量を確認する。

1 3. 廃棄上の注意

廃材、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をする。  
 容器、機械装置などを洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。  
 排水に関しては、水質汚濁防止法等の関連法令に適合するように充分留意する。  
 固化後の廃棄物などについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。  
 海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
 航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。  
 国連番号：該当しない  
 国連分類：該当しない

1 5. 適用法令

労働安全衛生法：

[リスクアセスメントを実施すべき危険有害物]	ポルトランドセメント、結晶質シリカ（※がん原生物質）、マンガン及びその無機化合物
[表示対象物質]	ポルトランドセメント、結晶質シリカ（※がん原生物質）、マンガン及びその無機化合物
[通知対象物質]	ポルトランドセメント、結晶質シリカ（※がん原生物質）、マンガン及びその無機化合物
[作業環境評価基準]	石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん、マンガン及びその化合物
[粉じん障害防止規則]	該当

毒物劇物取締法：

非該当

P R T R 法：

[第 1 種指定化学物質] 非該当

[第 2 種指定化学物質] 非該当

化審法：

第 8 条第 1 項、第 3 項に該当する一般化学物質（酸化マンガン、化審法整理番号 1-475）

消防法：

非該当

じん肺法：

第 2 条 施行規則第 2 条別表粉じん作業

労働基準法：

疾病化学物質（マンガン及びその化合物）

1 6. その他の情報

注意事項：本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したのですが、必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。  
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

#### 参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場の表示及び安全データシート (SDS): JISZ 7253: 2019)
- 2) 製品安全データシートの作成指針平成18年5月 (社団法人日本化学工業協会)
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 原材料/製品メーカーMSDS (SDS)